

## ディスコグラフィー収載

### ディスコグラフィー【2017No.79】(HP 収載)

分類：BD-ROM(11.2MHz DSD)

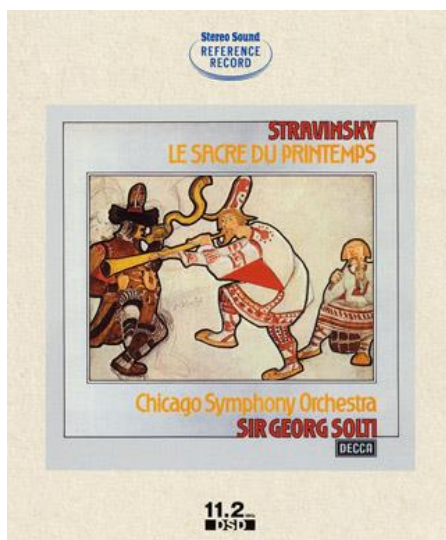
作曲家：イーゴリ・ストラヴィンスキー

曲名：バレエ《春の祭典》

演奏：ゲオルグ・ショルティ指揮シカゴ交響楽団

発売：ステレオサウンド社

No.：SSHRB-001



---

#### ストラヴィンスキー:バレエ「春の祭典」

---

「春の祭典」の玉座を占める別格的存在

このレコードほど、録音とは畢竟そこから演奏現場を覗きこむ音の「窓」を作る作業であるということを思い知らせる例は稀だ。録音エンジニアのウィルキンソンはここで、スピーカーを消し去り、その向こう側に空間とそこに充満した空気ごと巨大な厚みと広がりとお行きのあるオーケストラを再現している。複雑な音の重なりの中から、ところどころで低音の振動が空気の揺れとなってリズムに合わせて吹き抜ける。

(弊社発行 嶋護著「クラシック名録音・究極ガイド」より抜粋)

#### 収録曲

イーゴリ・ストラヴィンスキー

Igor Stravinsky

バレエ 《春の祭典》

**Le Sacre du Printemps**

第1部:大地礼賛

**Première Partie: L'Adoration de la Terre**

1. 序奏 [3:04]

**Introduction**

2. 春のきざし — 乙女たちの踊り  
[3:20]

**Les augures printaniers - Danses des adolescentes**

3. 誘拐 [1:16]

**Jeu du rapt**

4. 春の踊り [2:58]

**Rondes printanières**

5. 敵の都の人々の戯れ [1:52]

**Jeux des cités**

6. 賢者の行列 [0:42]

**Cortège du sage**

7. 賢者 [0:19]

**Le sage**

8. 大地の踊り [1:15]

**Danse de la terre**

シカゴ交響楽団

**Chicago Symphony Orchestra**

指揮:サー・ゲオルグ・ショルティ

**Conducted by Sir Georg Solti**

録音:1974年5月14日 シカゴ、メディナ・テンプル

**Recording: Medinah Temple, Chicago, 14 May 1974**

**Recording producer: Ray Minshull**

**Recording engineer: Kenneth Wilkinson**

**Assistant recording engineer: James Lock**

このオリジナル盤は定番中の定番ですが、そのハイレゾ DSD 音源化です。

この曲はオーディオの試聴会でも音の煌びやかさを誇示するためによく使われるものですが、激しいリズム、木管の悲鳴、金管の咆哮、打楽器の連打など何をとっても、11.2MHzDSDによるディテールの再現を通じてショルティのパッションをぶっつけた

第2部:いけにえ

**Seconde Partie:Le Sacrifice**

9. 序奏 [4:00]

**Introduction**

10. 乙女たちの神秘的なつどい  
[3:11]

**Cercles mystérieux des adolescentes**

11. いけにえの賛美 [1:29]

**Glorification d'élue**

12. 祖先の呼び出し [0:40]

**Évocation des ancêtres**

13. 祖先の儀式 [3:19]

**Action rituelle des ancêtres**

14. いけにえの踊り [4:43]

**Danse sacrée:l'élue**

ような音の展開が聴きどころとなっています。

以上